

科目名・単位数		社会福祉基礎(3年次)	(2)単位	学習レベル	基礎
<p>学習目標</p> <p>①社会福祉に関する基礎的な知識と技術を習得し、社会構造の変容やライフスタイルの変化が社会福祉の進展にどのような影響を及ぼしているか考える力を身に付ける。</p> <p>②現代社会における社会福祉の意義や役割などについて理解し、社会福祉の基本的な見方や考える力を身に付ける。</p> <p>③対人援助のあり方や社会福祉制度の基礎的な理解のもと、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の向上を図る能力と態度を身に付ける。</p>					
学期	学習内容	学習のねらい		補助教材	
前期 (4月～9月)	<p>4月 第3章 障害者福祉</p> <p>1 障害者福祉とは 2 身体障害者の現状と課題</p> <p>3 身体障害者福祉の推進 4 障害者の生活支援</p> <p>5 知的障害者の現状と課題</p> <p>6 知的障害者の在宅支援と施設の役割</p> <p>8 障害者グループホーム</p> <p>9 発達障害をめぐる多様な課題と支援</p> <p>10 精神障害者の支援 11 障害者福祉の今後</p> <p>第4章 高齢者福祉</p> <p>1 人口の高齢化と高齢者福祉</p> <p>2 高齢者の健康保持と社会参加</p> <p>3・4 介護保険制度</p> <p>5・6 高齢者の在宅サービス</p> <p>7 認知症ケア 8 介護保険施設</p> <p>9 老人福祉施設その他</p> <p>10 高齢者の地域生活を支える各種サービス</p> <p>7月 11 高齢者福祉の将来</p> <p>第5章 生活のための公的扶助</p> <p>1 生活保護とは 2 生活保護の種類と基準</p> <p>3 生活保護の実施運営体制と動向の傾向</p> <p>4 生活資金の支援制度・ホームレスの自立支援</p> <p>第6章 国民生活を支える社会保障制度</p> <p>1 日本の社会保険制度の枠組み</p> <p>2 健康保険・国民健康保険</p> <p>3 高齢者医療制度等 4 公的年金制度の体系</p> <p>9月 5 公的年金の給付 6 雇用保険と労災保険</p>	<p><input type="checkbox"/> 年間の授業計画と基本的な心構えを準備する。</p> <p><input type="checkbox"/> ノーマライゼーション思想や自立生活運動等の障害者福祉の意義について考察する。</p> <p><input type="checkbox"/> 発達障害者支援法を中心とした発達障害者に対する支援体制を理解し、多様化する課題やニーズにどのように向き合っていくか考察する。</p> <p><input type="checkbox"/> 介護保険制度成立までの経緯、概要について理解する。改正の趣旨、施設の再編、高齢者虐待防止、福祉人材確保と我が国が抱える課題を考察する。</p> <p><input type="checkbox"/> 相互扶助から社会連帯を手本とした新しい地域社会づくりのあり方を考察する。</p>		DVD	
	<p>後期 (10月～3月)</p> <p>10月 第4編 人間関係とコミュニケーション</p> <p>第1章 コミュニケーションの基礎</p> <p>1 コミュニケーションの意義・役割</p> <p>2 コミュニケーションの基礎的方法</p> <p>第2章 援助における人間関係の形成</p> <p>1 傾聴・受容・共感の姿勢</p> <p>2 利用者理解と援助者の自己理解</p> <p>12月 第3章 社会福祉援助活動の概要</p> <p>1 個別援助技術の活用と福祉活動</p> <p>2 集団援助技術の活用と福祉活動</p> <p>1月 3 地域援助技術の活用と福祉活動</p> <p>4 社会福祉援助活動の発展</p> <p>第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度</p> <p>第1章 地域福祉の進展と地域の将来</p> <p>3月 第2章 多様な社会的支援制度</p> <p>第3章 社会福祉の将来と福祉の担い手</p>	<p><input type="checkbox"/> コミュニケーション活動が持つ意義や役割について考察する。言語的、非言語的コミュニケーションや近年広がりを見せる情報技術を理解し、それらが持つ意義を考察する。</p> <p><input type="checkbox"/> 利用者理解と援助者の自己理解が援助活動を進めていく上でどのような意義を持つか考察する。ボランティアの定義について理解し、地域福祉活動の中でどのような役割を担っているか考察する。社会福祉が担う役割と新たな時代に向け福祉社会をどのように構築していくかを考察する。</p>		新聞活用	
<p>評価の観点と方法</p> <p>観 点</p> <p>①社会保障制度に関する理念と意義を理解し、今後の福祉社会の人材となる資質を身につけることができたか。</p> <p>②各領域の福祉の現状と課題を理解し、主体的に解決する能力と態度を身につけ、今後の福祉社会の人材となる資質を身につけることができたか。</p> <p>③公的扶助及び介護実践に関わる諸制度の施策を理解し、今後の福祉社会の人材となる資質を身につけることができたか。</p> <p>方 法</p> <p>定期考査の成績、プリント・レポートなどの提出物の有無と内容、発表の仕方や内容、学習活動への参加の態度などで評価する。</p>					
使用教科書・副読本		<p>検定教科書 社会福祉基礎 (実教出版)</p> <p>新・介護福祉士養成講座 2. 社会と制度の理解 (中央法規)</p>			
教材・道具等		ワークシート、パワーポイント、新聞記事・DVDなど			